

株主のみなさまへ

第190期 事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



拝啓、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

第190期の業績および当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当期におきまして、鉄道事業を中核とした当社グループを取り巻く環境は、沿線人口や就学人口の減少、観光シーズンにおける天候不順、さらに電力料金の値上げ等もあり厳しい状況が続いており、加えて昨年夏以降のS L運休が鉄道事業をはじめ関連事業の業績に影響を及ぼすこととなりました。

その結果、当連結会計年度の営業収益は5,512,924千円(前期比1.5%の減収)、営業利益は139,506千円(前期比35.7%の減益)、経常利益は108,128千円(前期比41.4%の減益)、純利益は89,328千円(前期比51.2%の減益)となりました。

当社では、株主の皆様をはじめ、お客様、沿線地域社会の信頼に応えられる企業となるため、輸送の安全、無事故無災害の達成を最優先課題として取り組み、持続的に成長・発展することをめざしています。

今後も厳しい経営環境が続くものと予想されますが、引き続き経営基盤を強化するために、中期経営計画の遂行・効率的な人員配置・繰越損失の早期解消を重点課題とし取り組んでまいります。

平成25年6月

代表取締役社長 大谷隆男

事業の概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、バス事業、その他事業を営み当社と子会社6社で構成されております。当期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業

鉄道事業におきましては、「輸送の安全確保が最大の使命である」という認識のもと、引き続き車両の更新やコンクリート枕木化工事、重軌条化工事、継電連動装置の更新、踏切道の第1種化工事など設備面での改良に取り組みました。

営業面におきましては、関係団体との共催ハイキングを数多く実施した他、わくわく鉄道フェスタや1000系車両引退記念イベントの開催、サイクルレインの区間延長、企画列車の運行や記念乗車券の販売などを行いました。

また、行田市を舞台として映画の公開にあわせたラッピング列車の運行や、沿線にゆかりのあるアニメとのコラボ企画等の営業活動を沿線市町と連携して実施いたしました。

その結果、SL関連の収入が運休の影響により減少いたしました。前年度に比べ旅客人員及び旅客収入は増加いたしました。

一方、貨物収入は、安定したセメント需要が継続し年間を通して堅調に推移いたしました。セメント工場の定期修理期間の繰上げにより貨物列車の運休があったため減少いたしました。

営業費用は、電力料金の値上げ等の影響もあり前年度に比べ増加いたしました。

以上の結果、鉄道事業の営業収益は、3,352,881千円(前期比2.1%の減収)、営業損失は、161,642千円となりました。



不動産事業

不動産事業におきましては、請負工事や仲介業にも注力し、分譲地「深谷市緑台」販売の積極的な営業活動や賃貸物件の優遇キャンペーンを実施し入居率の向上を図りましたが、営業収益は515,074千円(前期比1.5%の減収)、営業利益は287,247千円(前期比0.1%の減益)となりました。



観光事業

観光事業におきましては、天候不順やSLの運休により長瀨・秩父方面への観光客が減少し厳しい状況が続き、営業収益は283,251千円(前期比7.3%の減収)、営業損失は8,820千円となりました。



バス事業

バス事業におきましては、震災による影響を受けた昨年の落ち込みから回復の兆しがみられたものの営業収益は、451,292千円(前期比6.5%の増収)、営業損失は14,512千円となりました。



その他事業

建設業における公共工事の受注や、旅行業の収入が増加したことにより、その他全体としては、営業収益1,352,093千円(前期比2.6%の増収)、営業利益は17,125千円となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 (平成24年度)	前連結会計年度末 (平成23年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	2,052,776	1,888,934	163,842
固定資産	21,440,798	21,349,258	91,540
資産合計	23,493,575	23,238,192	255,383
(負債の部)			
流動負債	4,302,169	3,939,287	362,882
固定負債	9,810,826	10,062,962	△252,136
負債合計	14,112,996	14,002,250	110,746
(純資産の部)			
株主資本	△226,209	△315,171	88,962
資本金	750,000	750,000	-
資本剰余金	21,991	21,998	△7
利益剰余金	△969,935	△1,059,264	89,329
自己株式	△28,265	△27,905	△360
その他の 包括利益累計額	9,595,626	9,539,940	55,686
少数株主持分	11,160	11,173	△13
純資産合計	9,380,578	9,235,942	144,636
負債純資産合計	23,493,575	23,238,192	255,383

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

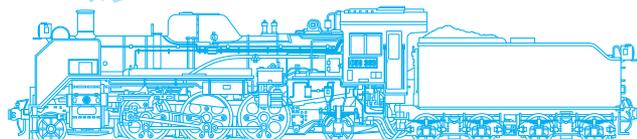
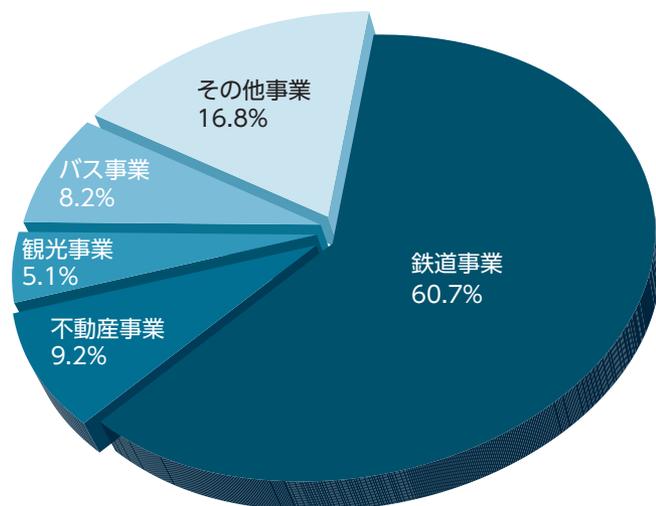
連結損益計算書の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (平成24年度)	前連結会計年度 (平成23年度)	増減額
営業収益	5,512,924	5,594,303	△81,379
営業費	5,373,417	5,377,421	△4,004
営業利益	139,506	216,882	△77,376
営業外収益	54,805	61,667	△6,862
営業外費用	86,183	94,022	△7,839
経常利益	108,128	184,528	△76,400
特別利益	318,777	258,082	60,695
特別損失	321,222	255,696	65,526
税金等 調整前当期純利益	105,683	186,914	△81,231
法人税、住民税 及び事業税	16,729	5,059	11,670
法人税等調整額	△345	△1,001	656
少数株主損益	△28	△55	27
当期純利益	89,328	182,911	△93,583

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別営業収益構成比



連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (平成24年度)	前連結会計年度 (平成23年度)
株主資本		
前期末残高	△315,171	△497,394
(当期変動額)		
当期純利益	89,328	182,911
自己株式の処分	26	312
自己株式の取得	△393	△2,610
土地再評価差額金取崩額	-	1,609
当期変動額合計	88,961	182,223
当期末残高	△226,209	△315,171
その他の包括利益累計額		
前期末残高	9,539,940	8,706,070
(当期変動額)		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	55,686	833,870
当期変動額合計	55,686	833,870
当期末残高	9,595,626	9,539,940
少数株主持分		
前期末残高	11,173	11,207
(当期変動額)		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△12	△34
当期変動額合計	△12	△34
当期末残高	11,160	11,173
純資産合計		
前期末残高	9,235,942	8,219,883
(当期変動額)		
当期純利益	89,328	182,911
自己株式の処分	26	312
自己株式の取得	△393	△2,610
土地再評価差額金取崩額	-	1,609
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	55,673	833,835
当期変動額合計	144,635	1,016,059
当期末残高	9,380,578	9,235,942

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

個別貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科 目	当会計年度末 (平成24年度)	前会計年度末 (平成23年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,650,154	1,520,760	129,394
固定資産	21,163,450	21,061,942	101,508
資産合計	22,813,604	22,582,702	230,902
(負債の部)			
流動負債	3,997,318	3,648,287	349,031
固定負債	9,750,378	9,997,623	△247,245
負債合計	13,747,696	13,645,910	101,786
(純資産の部)			
株主資本	△457,020	△533,603	76,583
資本金	750,000	750,000	-
資本剰余金	14,106	14,106	-
利益剰余金	△1,192,861	△1,269,805	76,944
自己株式	△28,265	△27,905	△360
評価・ 換算差額等	9,522,928	9,470,395	52,533
純資産合計	9,065,908	8,936,791	129,117
負債純資産合計	22,813,604	22,582,702	230,902

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

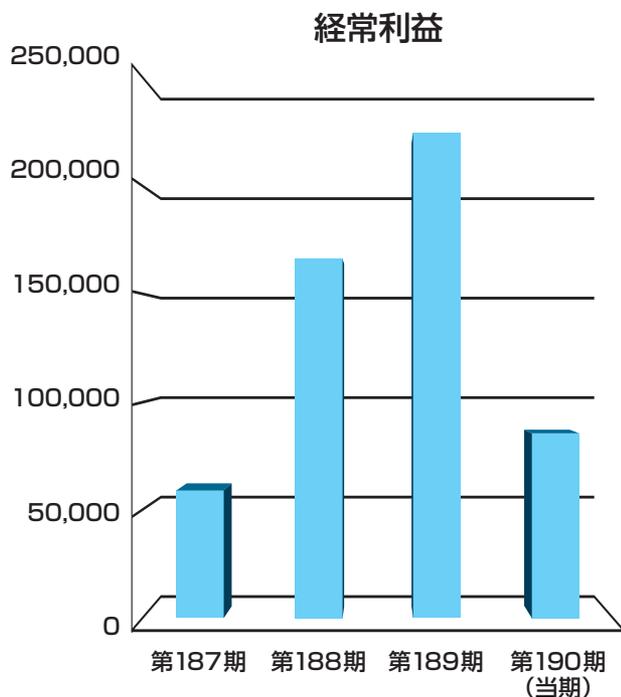
損益計算書の要旨

(単位：千円)

科 目	当会計年度 (平成24年度)	前会計年度 (平成23年度)	増減額
鉄道事業			
営業収益	3,352,881	3,425,644	△72,763
営業費	3,512,643	3,475,451	37,192
営業利益	△159,761	△49,807	△109,954
不動産事業			
営業収益	515,074	522,865	△7,791
営業費	227,765	235,198	△7,433
営業利益	287,308	287,667	△359
観光事業			
営業収益	283,251	305,691	△22,440
営業費	290,430	292,218	△1,788
営業利益	△7,178	13,472	△20,650
全事業営業利益			
営業外収益	48,024	61,176	△13,152
営業外費用	82,946	88,374	△5,428
経常利益	85,446	224,134	△138,688
特別利益	317,501	250,515	66,986
特別損失	317,107	250,023	67,084
税引前当期純利益	85,840	224,626	△138,786
法人税、住民税 及び事業税	8,890	1,890	7,000
法人税等調整額	-	△1,092	△1,092
当期純利益	76,950	223,828	△146,878

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別経常利益推移表

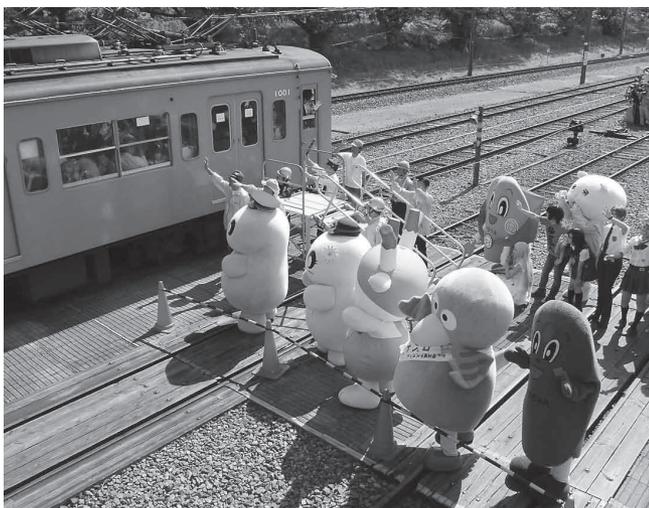


株主資本等変動計算書

(単位: 千円)

科 目	当会計年度 (平成24年度)	前会計年度 (平成23年度)
株主資本		
前期末残高	△ 533,603	△ 756,744
(当期変動額)		
当期純利益	76,950	223,828
自己株式の処分	26	312
自己株式の取得	△ 393	△ 2,610
土地再評価差額金取崩額	-	1,609
当期変動額合計	76,583	223,140
当期末残高	△ 457,020	△ 533,603
評価・換算差額等		
前期末残高	9,470,395	8,645,414
(当期変動額)		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	52,532	824,980
当期変動額合計	52,532	824,980
当期末残高	9,522,928	9,470,395
純資産合計		
前期末残高	8,936,791	7,888,670
(当期変動額)		
当期純利益	76,950	223,828
自己株式の処分	26	312
自己株式の取得	△ 393	△ 2,610
土地再評価差額金取崩額	-	1,609
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	52,532	824,980
当期変動額合計	129,116	1,048,121
当期末残高	9,065,908	8,936,791

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



わくわく鉄道フェスタ

5月19日(土)広瀬川原車両基地にてわくわく鉄道フェスタが開催されました。約5500人のお客様にご来場いただきました。



EL5重連運転

10月7日に秩父祭笠鉾特別曳行記念として、ELパレオエクスプレスを5重連にて運転いたしました。

「のぼうの城」公開記念コラボ

行田市が舞台の映画「のぼうの城」公開を記念して、ラッピング電車の運行と記念乗車券を販売いたしました。





ちちてつ
OPEN! e-shop

<http://shop.chichibu-railway.co.jp/>

「ちちてつe-shop」 オープン

秩父鉄道グループ・
(株)秩鉄商事は、オリジナル商品をはじめ、沿線の特産品やお土産物、人気の「あの花」グッズを取りそろえた通販サイトをオープンしました。



さよなら1007号 引退記念イベント

2009年の「秩父鉄道創立110周年」記念イベントのひとつとして、1007号編成は導入当時の旧1000系色への塗り替えを行い、人気を博しておりましたが、12月8日をもって引退いたしました。当日は、引退を惜しむファンで大盛況でした。

新型7800系デビュー

1000系車両の置換用として、東京急行電鉄(株)より8090系を購入し、自社で改造を加え、7800系とし3月16日より営業運転を開始いたしました。

- ◇構成 2両固定編成
- ◇構体 MC TC
(全社ステンレス車両)
- ◇定員 MC 140名
(車イススペース付)
TC 139名



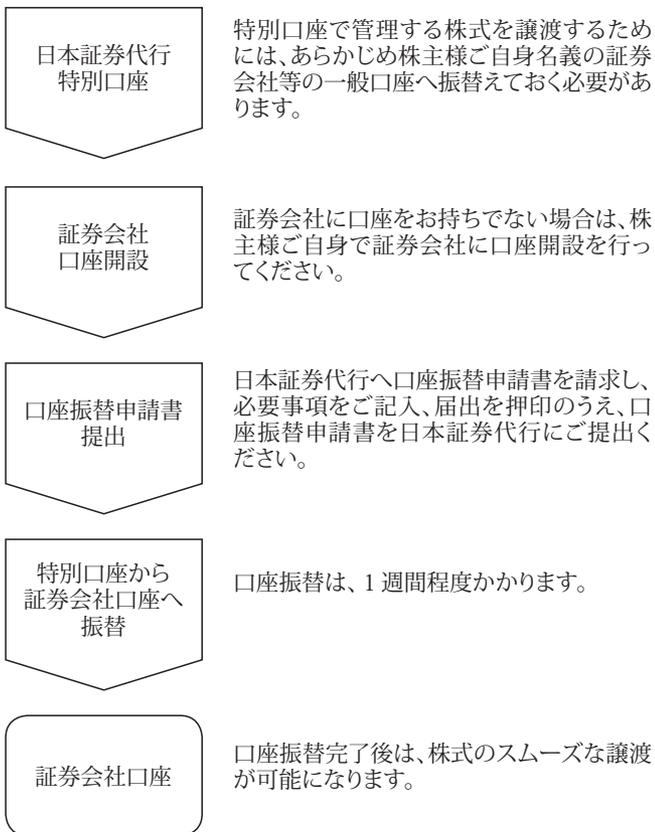
表紙の写真「浦山川橋梁を走る新型7800系」

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

株券電子化(平成21年1月5日実施)の際に、証券会社等の口座で当社株式を管理されていなかった株主さまの株式は、当社が日本証券代行株式会社に開設した特別口座で管理されています。

「特別口座」で管理されている株式を譲渡する場合は、特別口座と同一の名義で開設されている証券会社等の一般口座へ振替を行う必要があります。将来の株式譲渡をスムーズに行えるように、あらかじめ特別口座から一般口座に振替えておくことをお勧めします。

特別口座からの振替のご案内



単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

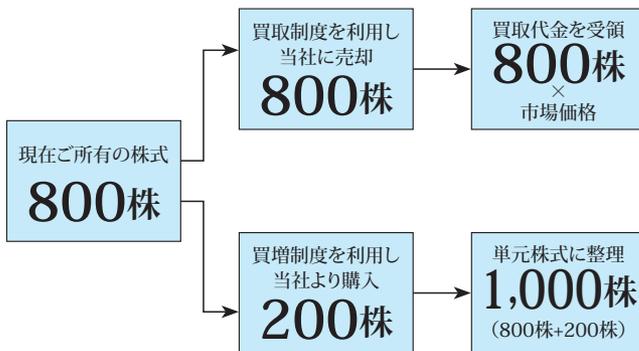
当社の単元株式数は、1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。

当社では、「買取請求制度」「買増請求制度」を用意しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願いいたします。

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

(例)当社株式を800株ご所有の場合、その800株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元(1,000株)の株式にする為必要な株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

(例)当社株式を800株ご所有の場合、200株を市場価格で当社から購入し、1,000株にする。

特別口座・単元未満株式の処理についてお問合わせ下さい。

日本証券代行 代理人部(平日9:00~17:00)

0120-707-843

役員 (平成 25 年 6 月 26 日現在)

代表取締役社長	大谷隆男
常務取締役	鎌倉良之
常務取締役	赤岩一男
取締役	中山高明
取締役	高柳功
常勤監査役	高田眞平
監査役	西村俊英
監査役	村上直樹

株主メモ

事業年度 定時株主総会 基準日	毎年4月1日から翌年3月31日まで 6月
定時株主総会 期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年3月31日
株主名簿管理人	毎年9月30日
同事務取扱所	日本証券代行株式会社 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620
(郵便物送付先 お問い合わせ先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 0120-707-843(フリーダイヤル) 取次事務は、三井信託銀行株式会社の 全国本支店においても行ってあります。
公告方法 単元株式数 皆様へのお願い	東京都において発行する日本経済新聞 1,000株 住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が 間違いなく届きますよう、お早めに上記株主 名簿管理人にお手続きください。
ホームページ	http://www.chichibu-railway.co.jp ※(鉄道ニュースやイベント情報がご覧いただけます。)

毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を発行いたします。

1. 優待乗車証(定期券式)

ご所有の株式数に応じて、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
15,000株以上 21,000株未満	当社電車全線優待乗車証	1枚
21,000株以上	当社電車全線および・索道 (宝登興業株式会社) (宝登山ロープウェイ) 全線優待乗車証	1枚

※有効期間・・・6月1日から1ヵ年間(5月下旬発送)

2. 優待乗車証(回数券式)

ご所有の株式数に応じて、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
1,000株以上 3,000株未満	2枚
3,000株以上 5,000株未満	4枚
5,000株以上 10,000株未満	6枚
10,000株以上	10枚

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)

3. 優待割引券

ご所有株式数1,000株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
宝登山小動物公園	特別入園券 5枚
長瀨ライン下り	50%割引券 各5枚
有隣倶楽部お食事代(飲み物は除く)	
ガーデンハウス有隣お食事代(飲み物は除く)	
秩鉄タクシー株式会社	運賃200円割引券 5枚

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)

 秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地

TEL 048-523-3311(代表)

URL <http://www.chichibu-railway.co.jp>

